

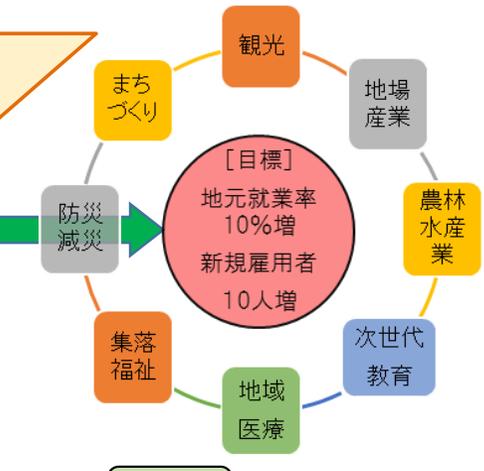
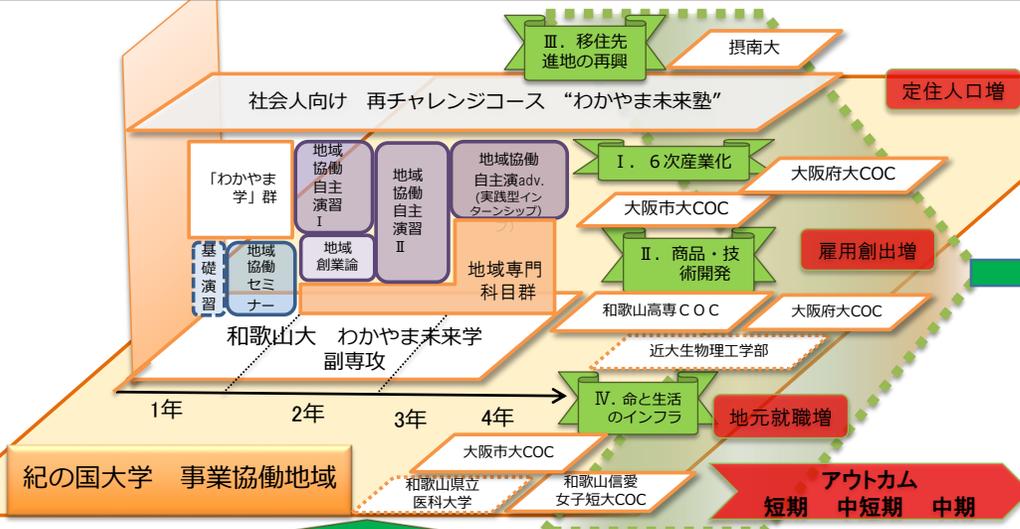
わかやまの未来を切り拓く若者を育む“紀の国大学”の構築

和歌山県全域をキャンパスとするネットワーク大学「紀の国大学」を、県内大学・高専と大阪の総合大学及び和歌山県、県内企業団体が構築する。地域の力を借りて地域に即した実践的な教育プログラム（協働教育）を展開することにより、6次産業化／商品・技術開発／移住先進地の再興／命と生活のインフラの向上に貢献できる人材を養成し、地元就職増、雇用創出増、定住人口増を実現する。そのために、和歌山大学では、地域と協働で実践力を鍛える地域協働演習群および実践と就職を意識した実践型インターンシップからなる全学共通の副専攻制度を新設し、1年次より、地域を体験する学修を行う。和歌山大学から郷土愛を育む「わかやま学」を提供するとともに、COC事業等を展開する各大学間で共同教育を県下全域で展開する。事業全体を支える「紀の国大学協議会」を組織し、COC+推進コーディネーターの下で運営管理する。

県域を越えて集まったネットワーク大学「紀の国大学」の教育プログラムを県下全域で展開

・副専攻では地域や企業と連携し4つのテーマに沿って具体的な教育プログラムを立ち上げる。

・PBLなどの実践的な教育手法を用いて、「体験」レベルを越え、「創業」をめざす学びを実現する。



本事業によって期待される成果

・全域で学生が活動
↓
県内高校生の大学進学率の向上
↓
県内大学への進学率の向上

・和歌山の魅力を知り、和歌山で学ぶ
↓
県内就職率の向上

・大阪の大学との連携とリカレント教育
↓
都市部からのUターン・Iターン率の向上

・プロジェクトの成果を地域ファンド等を使って創業支援
↓
新たな雇用の創出

和歌山県の課題を2軸で整理し、克服への4本柱を立てる

X軸：自然環境と人間社会
Y軸：民間と公的セクター
↓
県まち・ひと・しごと創生総合戦略の5つの基本目標を位置づけ

- 4つのテーマを立てる
- I. 6次産業化
 - II. 商品・技術開発
 - III. 移住先進地の再興
 - IV. 命と生活のインフラ

